

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ヴィクトリアマイルはエンブroidアリーが優勝

5月17日(日)に行われたヴィクトリアマイル(G I)では、単勝オッズ1.9倍の1番人気に推されたエンブroidアリー(牝4歳/美浦・森一誠厩舎)が優勝し、昨年の桜花賞と秋華賞に続く3つ目のG Iタイトルを手に入れました。鞍上のクリストフ・フルメール騎手は2年連続のヴィクトリアマイル制覇で、自身の持つ同レース最多勝利記録をさらに伸ばす5勝目をマークしたことになります。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

国際競馬統括機関連盟から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表分は2026年1月1日から5月10日までに実施された世界の主要レースが対象で、前回に続いてカーインライジングが首位に立ち、チェアマンズスプリントプライズ(G I)圧勝によりレーティングを前回の128から130へと上げました。日本調教馬はフォーエバーヤングが第7位(123)、クロワデュノールとマスカレードボールが第8位タイ(122)、ディーブモンスター、メイショウタバル、テオーエルビスが第16位タイ(120)、コスタノヴァ、サトノレーヴ、ロブチェン、ウィルソンテソーロが第24位タイ(119)と、計10頭が掲載されています。

●萩原清調教師が逝去

5月20日(水)、萩原清調教師(美浦/JRA通算6085戦743勝)が病気のため逝去されました。享年67歳でした。なお全管理馬44頭は大竹正博調教師(美浦)に22馬房の臨時貸付を行ったうえ、5月21日(木)付で転厩となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ダイヤモンドC(盛岡)は地元フォースメン【各地の主要3歳重賞】

ダイヤモンドC(5月5日、盛岡、1,800円)は、5番手から差を詰めた3番人気の船橋から岩手への移籍馬フォースメン(牡、父サンダースノー)が、単勝1.1倍で1番人気の大井からの遠征馬シーテブを残り150円に捉えて4馬身差を付け、重賞初挑戦で初制覇。黒潮皇月賞(5月3日、高知、1,400円)は、6番手を進んだカツテナイオイシサ(牡、父ヴァンセンヌ)がゴール寸前で差し切り、単勝1.2倍の支持に応えて土佐春花賞、ネクストスター西日本に続く重賞3連勝。佐賀皇月賞(5月3日、佐賀、1,800円)は、後ろから4頭目という位置から追上げた単勝1.3倍で1番人気の重賞6勝馬サキドリトッケン(牝、父トゥザワールド)が直線に入って間もなく抜け出し、4馬身差で圧勝。駿蹄賞(5月5日、名古屋、2,000円)は、中団から向正面半ば過ぎに先頭に立った6番人気の北海道から笠松への転入馬リバーサルトップ(牡、父ミスチヴィアスアレックス)がそのまま押し切りました。前半逃げた単勝1.2倍で1番人気のアストラビアンコは一旦5番手まで後退し、その後巻き返したものの1馬身半差の2着でした。兵庫優駿(5月5日、園田、1,870円)は、2番手から3コーナー手前で逃げ馬を交わした単勝1.2倍で圧倒的人気のゴッドフェンサー(牡、父ルヴァンスレーヴ)が後続を6馬身引き離し、重賞4連勝で菊水賞に次ぐ兵庫二冠を達成。東京湾C(5月6日、船橋、1,700円)は、9番手から徐々に位置取りを上げた4番人気の川崎所属馬ララメテオ(牡、父フリオソ)がゴール前200円標識の手前で先頭に立ち、初の重賞制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ロッキンジS~ノータブルスピーチがG1・5勝目

現地5月16日にイギリスのニューベリー競馬場で行われたG1ロッキンジS(4歳上、芝1,600円)はW.ピュイック騎手とのコンビで中国でレースを進めたノータブルスピーチ(牡5歳、父ドバウイ、C.アップルビー厩舎)が鋭い末脚を繰り出して優勝しました。ノータブルスピーチはこれで3歳時の英2000ギニー、サセックスS、4歳時のウッドバインマイル、BCマイル(全て芝1,600円)に続くG1・5勝目。今季初戦となった前走4月のG1メーカーズマークマイルSは不利で力を出し切れずに4着でしたが、鮮やかに巻き返しました。

●G1ブリークネスS~ナポレオンソロが優勝

米三冠の2戦目にあたるG1ブリークネスS(3歳、ダート1,900円)が5月16日に行われました。大規模な改修・改築工事中のピムリコ競馬場から同アメリカ・メリーランド州にあるローレルパーク競馬場に場所を移して施行された今年のレースを制したのは、ナポレオンソロ(牡3歳、父リアムズマップ、C.サマーズ厩舎)。P.ロベス騎手を背に2番手追走から最終コーナーで先頭に立って、そのまま押し切りました。なお、ケンタッキーダービー馬ゴールドデンテンボは回避しました。勝ったナポレオンソロは昨年8月のデビュー戦(ダート1,200円)と10月のG1シャンペンS(ダート1,600円)とともに楽勝して、2歳シーズンは2戦2勝。しかし今年は2月のG2ファウンテンオブユースS、前走4月のG2ウッドメモリアルSと2戦続けて5着に終わっていました。